

ワークショップ だよ！

Vol.1

南部圏域地域ブランド創造ワークショップ

📅 とき 平成23年1月18日(火) 18:30~20:30

📍 ところ 南部総合県民局美波庁舎 101会議室

🔗 南部圏域(阿南市・那賀町・美波町・牟岐町・海陽町)の地域ブランドの創造に向けて、地域の方たち自身で考え作り上げていく“南部圏域地域ブランド創造ワークショップ”を開催しています。
🔗 このお便りは、“南部圏域地域ブランド創造ワークショップ”での話し合いの様子をお届けするものです。

ステップ1

はじめに

ワークショップ開催の目的や、外から見た県南地域のイメージなどについて県から説明を行いました。
また、緊張をほぐすため、簡単な体操とゲームを行いました。

調査によると、徳島県は郷土への愛着度は高いが、自慢度が低いという結果でした。



ステップ2

地域の強み・弱みについて考えよう

3つのグループに分かれ、地域の持つ強み・弱みについて意見を出し合いました。
和気あいあいとした雰囲気での話し合いが進み、中には地域資源の具体的なPR方法や、今からできそうなことに議論が進んだりする場面もありました。



● ワークショップ参加者の皆さんが思うこの地域の・・・

強いところ!!

- ・遊べる自然がある (アウトドア・子育て・サーフィン・ヨガ・スキューバ)
- ・自然が豊か
- ・海・川・森林がきれい
- ・水・空気がきれい
- ・星がよく見える
- ・ウミガメが来る
- ・田んぼにメダカがいる
- ・彼岸花が咲きほこる
- ・いやしの道がある
- ・暖かい
- ・ヘルスツーリズムに最適
- ・勇壮な地域の祭りが行われている。
- ・お年寄りが多い
- ・観光の外国人が増えてきている
- ・肌がきれい
- ・のんびりとした雰囲気
- ・バラ、バラ畑
- ・生産物のルーツがわかる
- ・海・山・里の食べ物が身近にある
- ・木頭ゆず、寒茶、伊勢エビ、あわび、とこぶし、アオリイカ、すだち、まぐろなどの特産品
- ・特色ある料理 (ゆず酢のお寿司)
- ・紙すき
- ・あたたかい人柄
- ・もてなし(奉仕)の心
- ・人情味がある
- ・子どもが素直
- ・自然を大事にしている
- ・地域の連携が残っている
- ・遍路道、いやしの道がある
- ・阿波踊り、人形浄瑠璃で有名
- ・数多くの農村舞台がある
- ・薬王寺・太龍寺などの仏閣

遠くから来る人は、県南ならではのものを求めているはず… (〜へ〜)ウーム…

インフラ整備が進んでいないから、逆に豊かな自然が残っているんだネ (ﾟﾟ)ﾌﾌﾌ

弱いところお〜…

- ・交通アクセスが良くない
- ・道路が十分に整備されていない
- ・都市部との医療格差
- ・イベントや観光スポットが少ない (わかりにくい)
- ・遊ぶところが少ない
- ・観光スポットが少ない
- ・手軽に遊べる所が少ない
- ・人とのふれあいの場が少ない
- ・台風上陸が多い
- ・地震のおそれ
- ・教育環境が不十分
- ・雇用の場が少ない
- ・杉やひのきが多すぎる
- ・自然環境が活かしていない
- ・都会と同じものを提供しようとしている
- ・地産地消の店が少ない
- ・地産品が手に入りにくい
- ・特徴あるイベントが少ない
- ・伝統的な慣習が失われつつある
- ・人材不足 (育成マニュアルも不足)
- ・お年寄りが多く、若い人が少ない
- ・後継者不足
- ・あまり自己主張しない (PRが下手)
- ・安くて田舎らしい宿泊施設が少ない
- ・宿泊施設そのものも少ない
- ・良いものを活かしていない(レシピを知らないとか)

自己主張しない人柄は、もてなしの精神の裏返しかも… (〜)。

ステップ3

県南地域のイメージを提案しよう

グループで出された強みや弱みをもとに、県南地域のイメージのもととなるキーワードなどを探りだし、各グループごとに、県南地域のイメージを提案しました。一つのキャッチフレーズに集約するグループもあれば、いくつかのイメージやキーワードを列記するグループもありました。



各グループから提案された県南地域のイメージ

A班

天国のような場所
本当に欲しいものはここにある
田んぼにめだかがいる
彼岸花が咲く
田舎暮らしがしたい
自然がいっぱい
サーフィンが好き
不便が良い
探しているものがある場所
何も無いけどこのまちが好き

B班

あったかい
やさしい
あそこに行ったら楽しい
体験
知られていない
安心感
いやし スローライフ
変化
南阿波
昔ながらのホニヤラ

C班

癒しの徳島NO.1
徳島に来たら、健康になれる
徳島に住むと、健康になれる

「豊かな自然」が
大きなキーワード
の一つになって
ますね (^~^)

ワークショップの
様子が新聞にも取
り上げられました。
(^-^)

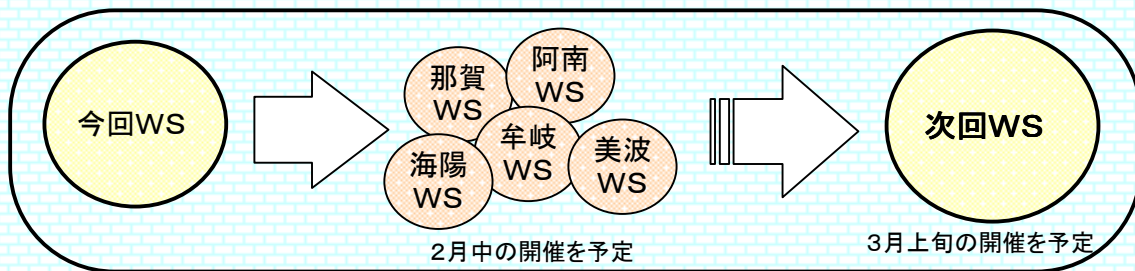


H23.1.20 徳島新聞朝刊

ステップ4

今後の予定

今後、県南1市4町ごとに、1回ずつワークショップを開催します。各市町での提案内容を材料に、再度全体ワークショップを開催し、県南地域のイメージを固め、地域ブランドの方向性やPR方法などについて検討していきます。



Q: 「地域ブランド」ってなんじゃ?

「地域ブランド」についての明確な定義はありません。和田充夫ほか著「地域ブランドマネジメント」(有斐閣)では、一つの試みとして、『その地域が独自に持つ歴史や文化、自然、産業、生活、人のコミュニティといった地域資産を、体験の「場」を通じて、精神的な価値へと結びつけることで、「買いたい」「訪れたい」「交流したい」「住みたい」を誘発するまち』と定義づけています。

地域ブランドの創造は、一つの特産品を作ることではありません。地域独自の資産を活用して、生産・販売・観光・交流・移住を有機的に結びつけ、地域全体を活性化させるところに、その創造意義があります。

ファンの心を驚かしにするものは何か、どういう「提供のしかた」が必要なのか、みんなで一緒に考えていきましょう。

お問い合わせ

南部圏域地域ブランド創造ワークショップ
についてのお問い合わせは、こちらまで。

徳島県南部総合県民局<美波>
企画振興部 県南振興担当
電話:0884-74-7356(担当:浦西)

